



本格的に練習を始めてから約2年。今では童謡や民謡、洋楽とさまざまジャンルを演奏する博司さん。  
愛用の篠笛は篠笛作り体験ができる「笹資料館」で作ったもの

福井に来てから約50年。  
理想の暮らしが和泉にありました。

前田博司さんは、福井工業大学の教壇に立つことになり、奥さんの幸枝さんと共に、約50年前、東京から福井市に引っ越してきました。屋根に積もる雪と建物の関係を長年研究していたこともあり、15年前、考察も兼ねて、北陸屈指の豪雪地である和泉に移住。二人が住むのは、建築構造の専門家である博司さんが設計した、雪に強く、かつ快適な暮らしができる理想的な住まい。2階には染織造形作家として活躍する幸枝さんのアトリエがあり、「清らかな場所ので創作活動ができるので、和泉で暮らすことに反対はありませんでした」と話します。



九頭竜湖などでカヌー教室を開催。漕ぎ方などを指導する博司さん

け、車通勤をしていた博司さんも5年前に大学を退職。以前の趣味であった、カヌー、スキー、アマチュア無線に加えて、2年ほど前からは篠笛も習い始め、和泉の歴史財産を守り伝える「青葉の笛保存顕彰会」のメンバーに加入。発表会に出演するなど、ご夫婦それぞれに「いずみ暮らし」を満喫しています。

のんびり、楽しく  
ふたりらしい  
時間を紡ぐ毎日。

前田 博司 さん  
(移住歴15年)

東京都出身。早稲田大学理工学部建築学科・大学院工学博士。一級建築士。元福井工業大学教授。1974年に同大学にカヌー部を創設。2003年より福井県カヌー協会理事長を務める。

前田 幸枝 さん

東京都出身。1991年より3年間、仁愛女子短期大学生活科学学科聴講生として染色・織物を中野千鶴子教授に師事。「日展」「福井県美術展」「市美展ふくい」での、入選作品も多数。



自宅2階にある幸枝さんアトリエ。3台ある機織り機は仁愛女子短期大学から譲り受けたもの。昭和うまれの古い機織り機を、今でも大切に使用しています